

【倫理意識調査報告書2010】

日本人の倫理意識に関する調査報告書

定点調査で明らかにする倫理25の受容性変化

調査報告書目次

与件

— P.3

調査概要

総論

調査結果サマリー

— P.5

倫理25コンセプト時系列比較(TOP2)

個人的共感度評価

社会的重要度評価

個人的実践度評価

倫理25コンセプト変動率

倫理コンセプト保存状況(個人的共感度 × 社会的重要度)時系列比較

倫理コンセプト機能状況(個人的共感度 × 個人的実践度)時系列比較

倫理コンセプト評価時系列比較(年代別)

ライフスタイル項目時系列比較

パーソナリティ項目時系列比較

調査概要

調査目的

日本人の倫理意識構造を倫理25と以下の3軸で把握し、「倫理・道徳観の全体像」を明らかにする

意識把握のための3軸

1軸:個人としての共感性

- ・個々人として、提示される「倫理コンセプト」に対して共感を持つか否か。

2軸:社会への不可欠性

- ・提示される「倫理コンセプト」は社会に(運営する上で)なくてはならないものだ、という認識を持つか否か。

3軸:個人としての実践度(心がけの度合い)

- ・共感性、社会への不可欠性評価と離れ、それを自らが実践できているか否か。

調査設計

一調査エリア	全国
一調査方法	インターネット調査
一調査日時	第1回 2005年2月25日(金)～3月3日(木)／ 第2回 2010年2月18日(木)～2月23日(火)
一対象者条件	10代～60代以上的一般男女個人
一サンプル数	1,200ss(サンプル割付は下表の通り)

サンプル数	全 体	男性		女性	
		都 市	地 方	都 市	地 方
サンプル数	1,200	300	300	300	300
【年代別】					
10代	200	50	50	50	50
20代	200	50	50	50	50
30代	200	50	50	50	50
40代	200	50	50	50	50
50代	200	50	50	50	50
60代以上	200	50	50	50	50

(人)

◆「都市」と「地方」について

今回調査では現居住エリアが政令指定都市であれば『都市』、それ以外を『地方』とした。

※参考

【2005年調査時 政令指定都市一覧】

北海道札幌市	宮城県仙台市		
埼玉県さいたま市	千葉県千葉市		
東京都23区	神奈川県横浜市	神奈川県川崎市	
愛知県名古屋市	京都府京都市	大阪府大阪市	兵庫県神戸市
広島県広島市	福岡県福岡市	福岡県北九州市	

【2010年調査時 政令指定都市一覧】

北海道札幌市	宮城県仙台市		
埼玉県さいたま市	千葉県千葉市		
東京都23区	神奈川県横浜市	神奈川県川崎市	新潟県新潟市
静岡県静岡市	静岡県浜松市	愛知県名古屋市	
京都府京都市	大阪府大阪市	大阪府堺市	兵庫県神戸市
岡山県岡山市	広島県広島市	福岡県福岡市	福岡県北九州市

総論

(1)倫理・道徳観の全体的な低下

25のコンセプトは、「個人的共感度」「社会的重要度」「個人的実践度」のいずれの指標においてもダウン傾向。その中で、「個人的実践度」では、前回調査(2005年)よりもアップしているコンセプトが相対的に多く、中でも「決断」「冷静」「困難を喜ぶ」「勤勉」が前回調査よりも高まった。ただし、それらのマインドはダウンしているため、今後、個人的実践度にも影響を与える可能性はある。

(2)他者への関与の低下

25のコンセプトの中で、3つの指標のいずれにおいても最もダウン幅が大きかったコンセプトは、「他者を尊重すること」であり、パーソナリティ項目においても「無口」「無駄話は嫌い」といった他者とのコミュニケーションや関係性を敬遠する傾向が垣間見られた。

(3)個人的共感度と社会的重要度の同調

今回の調査(2010年)結果において、倫理コンセプトの機能状況は、『有効な道徳倫理』(個人的共感度も社会的重要度も高い)と、『過去の遺物』(個人的共感度も社会的重要度も低い)の二極化構造になった。これは言い換えると、社会的に重要なものは個々も共感し、社会的に重要なものは個々も共感していないと考えられ、個人の共感と社会的な重要性はより同調していると推察できる。

(4)将来への経済的な自己防衛意識の高まり

ライフスタイル項目において、「我慢してでも貯蓄」「将来に備えた節約」「世の中お金」という点がアップしており、経済的な備えを重視している傾向が明らかになった。この背景には長引く厳しい不景気の時代に対応し、儉約・貯蓄することで将来的な不安を解消しようとする側面があるのではないだろうか。



調査結果サマリー

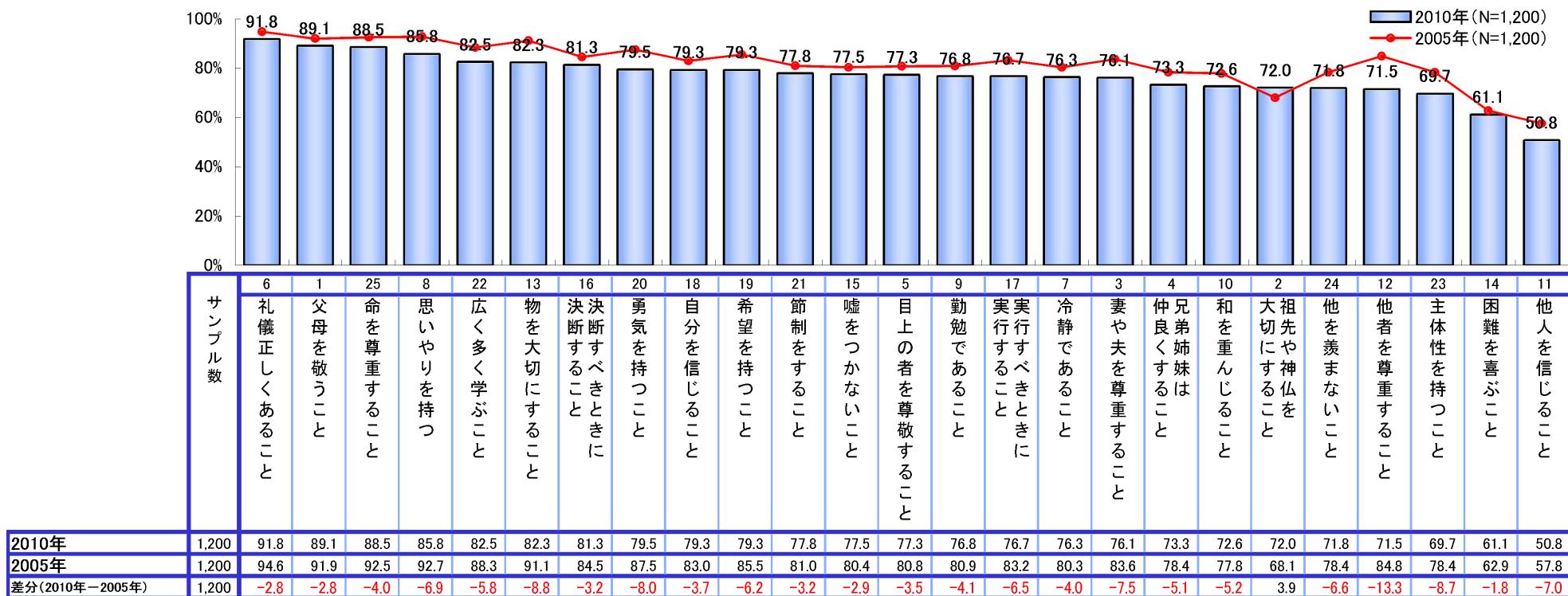
倫理25コンセプト時系列比較(TOP2)

- ・「個人的共感度」「社会的重要度」「個人的実践度」のいずれの指標においても評価はダウン傾向。
- ・「個人的共感度」「社会的重要度」は平均で約5ポイントのダウン、「個人的実践度」は約3ポイントのダウン。
- ・「12.他者を尊重すること」は、全ての指標において2桁のダウンになっており、ダウン幅が最も大きい。

サンプル数	a. 個人的共感度			b. 社会的重要度			c. 個人的実践度			
	2010年	2005年	差分 (2010年 -2005年)	2010年	2005年	差分 (2010年 -2005年)	2010年	2005年	差分 (2010年 -2005年)	
1. 父母を敬うこと	1,200	89.1	91.9	-2.8	87.4	91.6	-4.2	56.4	65.6	-9.2
2. 祖先や神仏を大切にすること	1,200	72.0	68.1	3.9	66.5	59.3	7.2	40.3	41.2	-0.9
3. 妻や夫を尊重すること	1,200	76.1	83.6	-7.5	73.6	80.3	-6.7	55.8	60.9	-5.1
4. 兄弟姉妹は仲良くすること	1,200	73.3	78.4	-5.1	70.8	72.8	-2.0	53.7	62.0	-8.3
5. 目上の者を尊敬すること	1,200	77.3	80.8	-3.5	76.8	80.8	-4.0	60.0	63.6	-3.6
6. 礼儀正しくあること	1,200	91.8	94.6	-2.8	91.3	94.8	-3.5	80.5	79.7	0.8
7. 冷静であること	1,200	76.3	80.3	-4.0	74.0	78.8	-4.8	54.7	49.8	4.9
8. 思いやりを持つ	1,200	85.8	92.7	-6.9	87.0	91.6	-4.6	66.3	68.8	-2.5
9. 勤勉であること	1,200	76.8	80.9	-4.1	77.9	82.3	-4.4	51.7	47.7	4.0
10. 和を重んじること	1,200	72.6	77.8	-5.2	69.4	74.8	-5.4	51.6	55.1	-3.5
11. 他人を信じること	1,200	50.8	57.8	-7.0	51.2	57.4	-6.2	30.9	34.8	-3.9
12. 他者を尊重すること	1,200	71.5	84.8	-13.3	68.8	83.8	-15.0	45.1	57.8	-12.7
13. 物を大切にすること	1,200	82.3	91.1	-8.8	80.9	86.3	-5.4	64.5	67.5	-3.0
14. 困難を喜ぶこと	1,200	61.1	62.9	-1.8	60.9	63.8	-2.9	38.3	33.5	4.8
15. 嘘をつかないこと	1,200	77.5	80.4	-2.9	77.3	80.8	-3.5	62.1	63.0	-0.9
16. 決断すべきときに決断すること	1,200	81.3	84.5	-3.2	76.7	79.7	-3.0	47.8	42.6	5.2
17. 実行すべきときに実行すること	1,200	76.7	83.2	-6.5	73.3	77.3	-4.0	40.3	39.6	0.7
18. 自分を信じること	1,200	79.3	83.0	-3.7	73.6	77.3	-3.7	51.7	56.5	-4.8
19. 希望を持つこと	1,200	79.3	85.5	-6.2	75.4	84.1	-8.7	49.3	53.3	-4.0
20. 勇気を持つこと	1,200	79.5	87.5	-8.0	74.6	80.9	-6.3	38.3	39.3	-1.0
21. 節制すること	1,200	77.8	81.0	-3.2	74.3	79.1	-4.8	48.5	50.6	-2.1
22. 広く多く学ぶこと	1,200	82.5	88.3	-5.8	77.1	83.7	-6.6	53.3	56.3	-3.0
23. 主体性を持つこと	1,200	69.7	78.4	-8.7	63.8	70.6	-6.8	39.6	45.5	-5.9
24. 他を羨まないこと	1,200	71.8	78.4	-6.6	66.6	70.7	-4.1	37.9	46.1	-8.2
25. 命を尊重すること	1,200	88.5	92.5	-4.0	88.3	92.2	-3.9	74.7	79.2	-4.5
平均	1,200	76.8	81.9	-5.1	74.3	79.0	-4.7	51.7	54.4	-2.7

個人的共感度評価

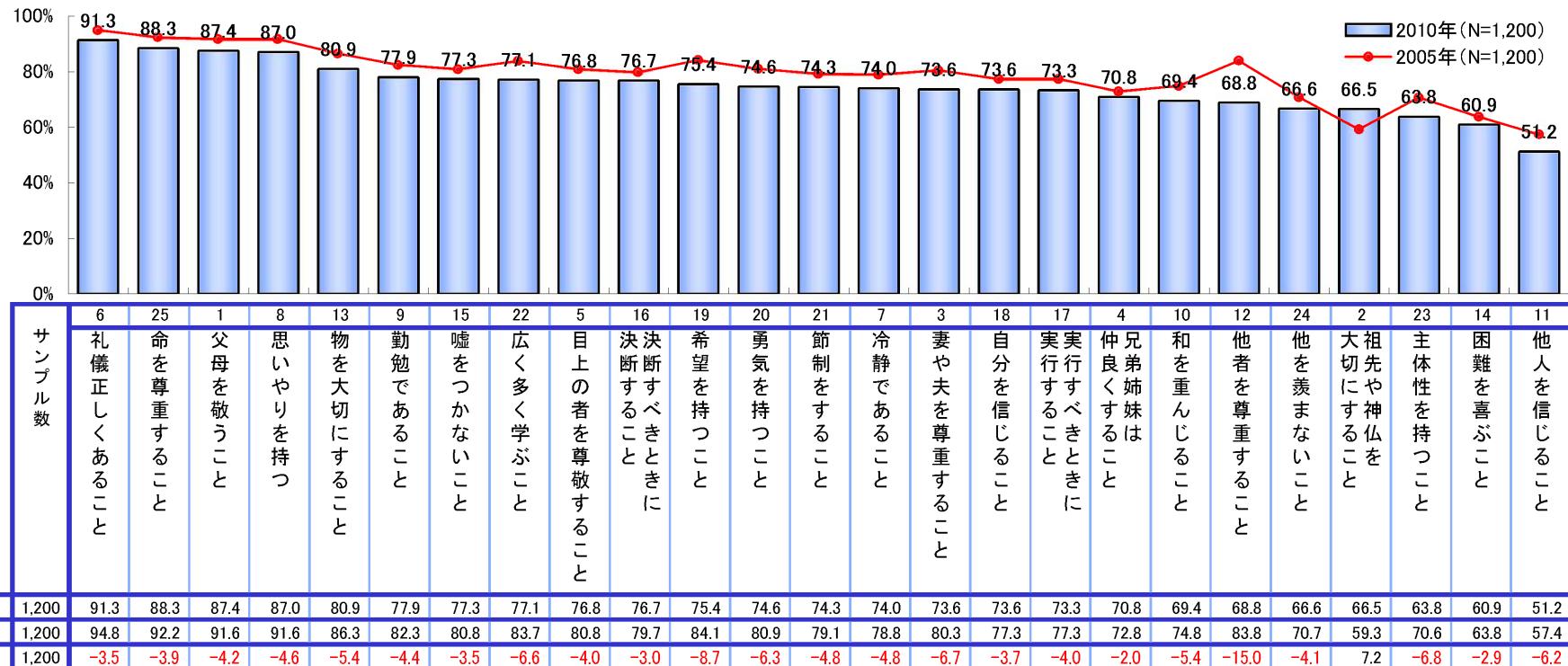
- ・個人的共感度においては、「礼儀正しくあること」「父母を敬うこと」「命を尊重すること」「思いやりを持つ」が、上位に挙がるもの、総じて「2005年」よりダウン傾向である。
- ・上位に挙がる項目は、「2005年」「2010年」とともにほぼ同じ傾向にある。



※表中の数値は倫理25コンセプトに対して「とても共感できる」または「まあ共感できる」と回答した比率を表す。

社会的重要度評価

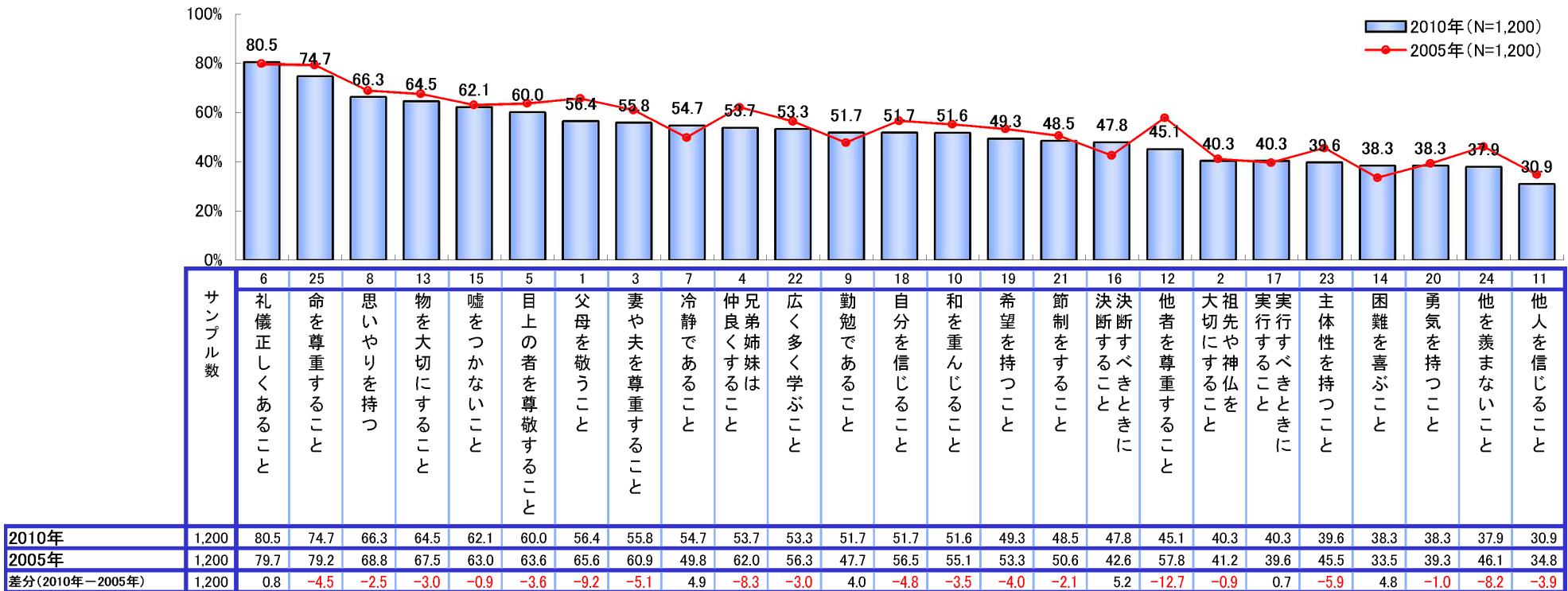
- ・社会的重要度においては、「礼儀正しくあること」「命を尊重すること」「父母を敬うこと」「思いやりを持つ」が、上位に挙がり、共感度とほぼ同じ項目が上位を占める。
- ・社会的重要度は、総じて「2005年」よりダウン傾向にあり、上位項目は「2005年」「2010年」ともに同じ傾向にある。



※表中の数値は倫理25コンセプトに対して「とても重要だと思う」または「まあ重要だと思う」と回答した比率を表す。

個人的実践度評価

- ・個人的実践度においては、「礼儀正しくあること」「命を尊重すること」「思いやりを持つ」「物を大切にすること」が上位に挙がり、共感度、重要度と同様の傾向にある。
- ・個人的実践度は、全般的に「2005年」よりダウン傾向にあり、上位項目においても「礼儀正しくあること」以外は、軒並みダウンしている。



※表中の数値は倫理25コンセプトに対して「普段から実践している」または「まあ実践している」と回答した比率を表す。

倫理25コンセプト変動率

・「個人的共感度」「社会的重要度」とともに「2005年」よりアップしているものは、「2.祖先や神仏を大切にすること」のみに留まっている。

・「個人的実践度」はアップしている項目が相対的に多く、「16.決断すべきときに決断すること」「7.冷静であること」「14.困難を喜ぶこと」「9.勤勉であること」などがアップしている。

a. 個人的共感度

	2010年	2005年	差分 (2010年 -2005年)
1 2. 祖先や神仏を大切にすること	72.0	68.1	3.9
2 14. 困難を喜ぶこと	61.1	62.9	-1.8
3 6. 礼儀正しくすること	91.8	94.6	-2.8
4 1. 父母を敬うこと	89.1	91.9	-2.8
5 15. 嘘をつかないこと	77.5	80.4	-2.9
6 16. 決断すべきときに決断すること	81.3	84.5	-3.2
7 21. 節制すること	77.8	81.0	-3.2
8 5. 目上の者を尊敬すること	77.3	80.8	-3.5
9 18. 自分を信じること	79.3	83.0	-3.7
10 7. 冷静であること	76.3	80.3	-4.0
11 25. 命を尊重すること	88.5	92.5	-4.0
12 9. 勤勉であること	76.8	80.9	-4.1
13 4. 兄弟姉妹は仲良くすること	73.3	78.4	-5.1
14 10. 和を重んじること	72.6	77.8	-5.2
15 22. 広く多く学ぶこと	82.5	88.3	-5.8
16 19. 希望を持つこと	79.3	85.5	-6.2
17 17. 実行すべきときに実行すること	76.7	83.2	-6.5
18 24. 他を羨まないこと	71.8	78.4	-6.6
19 8. 思いやりを持つ	85.8	92.7	-6.9
20 11. 他人を信じること	50.8	57.8	-7.0
21 3. 妻や夫を尊重すること	76.1	83.6	-7.5
22 20. 勇気を持つこと	79.5	87.5	-8.0
23 23. 主体性を持つこと	69.7	78.4	-8.7
24 13. 物を大切にすること	82.3	91.1	-8.8
25 12. 他者を尊重すること	71.5	84.8	-13.3

b. 社会的重要度

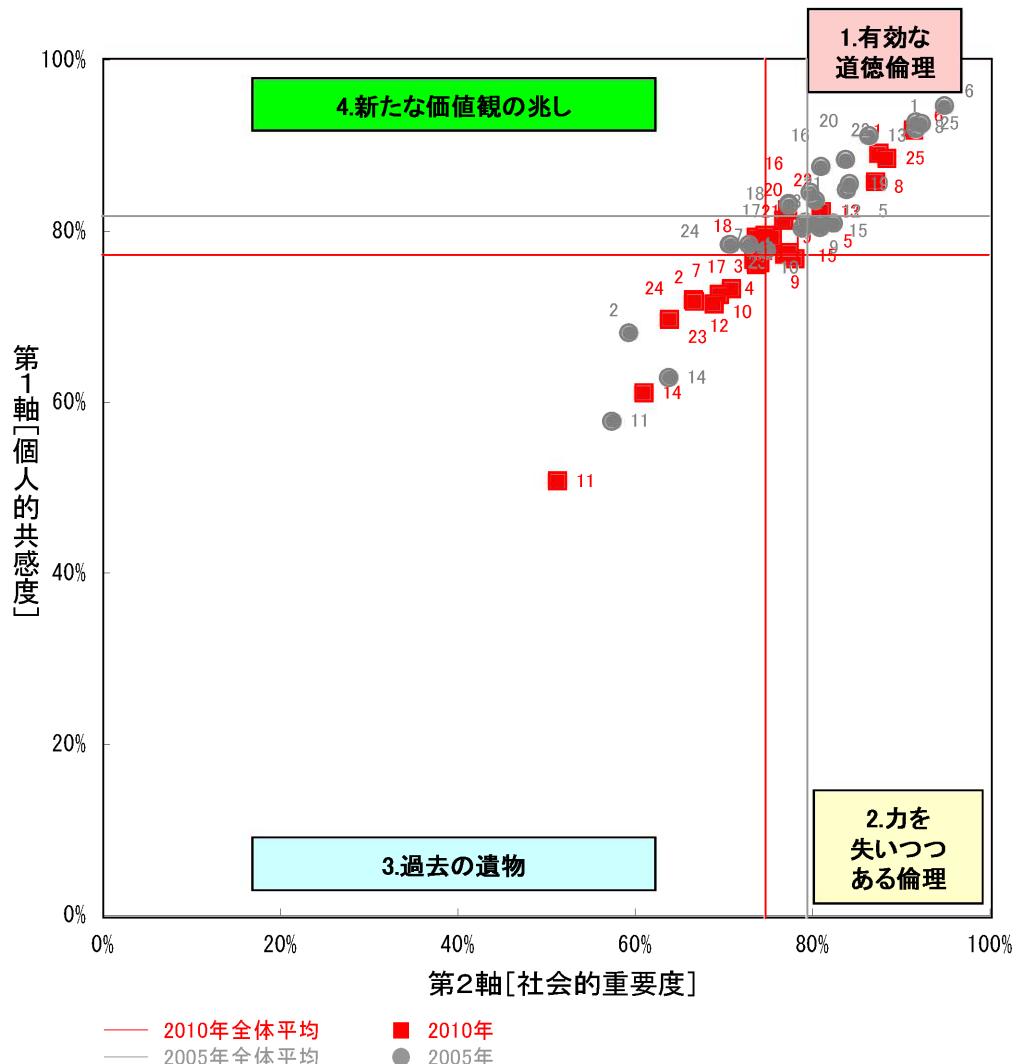
	2010年	2005年	差分 (2010年 -2005年)
1 2. 祖先や神仏を大切にすること	66.5	59.3	7.2
2 4. 兄弟姉妹は仲良くすること	70.8	72.8	-2.0
3 14. 困難を喜ぶこと	60.9	63.8	-2.9
4 16. 決断すべきときに決断すること	76.7	79.7	-3.0
5 6. 礼儀正しくすること	91.3	94.8	-3.5
6 15. 嘘をつかないこと	77.3	80.8	-3.5
7 18. 自分を信じること	73.6	77.3	-3.7
8 25. 命を尊重すること	88.3	92.2	-3.9
9 5. 目上の者を尊敬すること	76.8	80.8	-4.0
10 17. 実行すべきときに実行すること	73.3	77.3	-4.0
11 24. 他を羨まないこと	66.6	70.7	-4.1
12 1. 父母を敬うこと	87.4	91.6	-4.2
13 9. 勤勉であること	77.9	82.3	-4.4
14 8. 思いやりを持つ	87.0	91.6	-4.6
15 7. 冷静であること	74.0	78.8	-4.8
16 21. 節制すること	74.3	79.1	-4.8
17 10. 和を重んじること	69.4	74.8	-5.4
18 13. 物を大切にすること	80.9	86.3	-5.4
19 11. 他人を信じること	51.2	57.4	-6.2
20 20. 勇気を持つこと	74.6	80.9	-6.3
21 22. 広く多く学ぶこと	77.1	83.7	-6.6
22 3. 妻や夫を尊重すること	73.6	80.3	-6.7
23 23. 主体性を持つこと	63.8	70.6	-6.8
24 19. 希望を持つこと	75.4	84.1	-8.7
25 12. 他者を尊重すること	68.8	83.8	-15.0

c. 個人的実践度

	2010年	2005年	差分 (2010年 -2005年)
1 16. 決断すべきときに決断すること	47.8	42.6	5.2
2 7. 冷静であること	54.7	49.8	4.9
3 14. 困難を喜ぶこと	38.3	33.5	4.8
4 9. 勤勉であること	51.7	47.7	4.0
5 6. 礼儀正しくすること	80.5	79.7	0.8
6 17. 実行すべきときに実行すること	40.3	39.6	0.7
7 15. 嘘をつかないこと	62.1	63.0	-0.9
8 2. 祖先や神仏を大切にすること	40.3	41.2	-0.9
9 20. 勇気を持つこと	38.3	39.3	-1.0
10 21. 節制すること	48.5	50.6	-2.1
11 8. 思いやりを持つ	66.3	68.8	-2.5
12 13. 物を大切にすること	64.5	67.5	-3.0
13 22. 広く多く学ぶこと	53.3	56.3	-3.0
14 10. 和を重んじること	51.6	55.1	-3.5
15 5. 目上の者を尊敬すること	60.0	63.6	-3.6
16 11. 他人を信じること	30.9	34.8	-3.9
17 19. 希望を持つこと	49.3	53.3	-4.0
18 25. 命を尊重すること	74.7	79.2	-4.5
19 18. 自分を信じること	51.7	56.5	-4.8
20 3. 妻や夫を尊重すること	55.8	60.9	-5.1
21 23. 主体性を持つこと	39.6	45.5	-5.9
22 24. 他を羨まないこと	37.9	46.1	-8.2
23 4. 兄弟姉妹は仲良くすること	53.7	62.0	-8.3
24 1. 父母を敬うこと	56.4	65.6	-9.2
25 12. 他者を尊重すること	45.1	57.8	-12.7

倫理コンセプト保存状況時系列比較

- ・「2010年」の25のコンセプトは『1.有効な道徳倫理』と『3.過去の遺物』の2つの象限に集中しており、個人的共感度と社会的重要度は相関関係にあると言える。
- ・前回調査で『2.力を失いつつある倫理』にあった「5.目上の者を尊敬すること」「9.勤勉であること」「15.嘘をつかないこと」は『1.有効な道徳倫理』に、『1.有効な道徳倫理』にあった「3.妻や夫を尊重すること」「12.他者を尊重すること」は、『3.過去の遺物』にそれぞれ変わった。



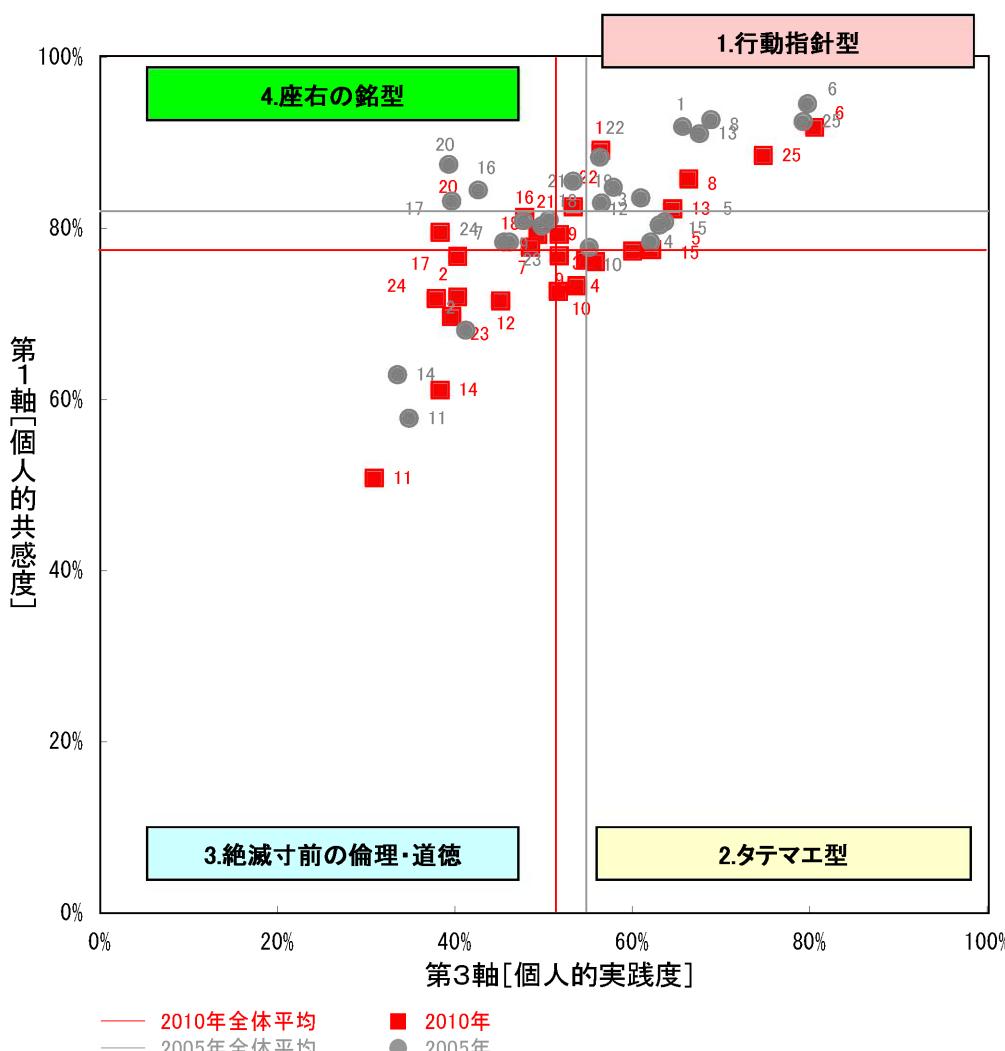
コンセプト名	ポジション	
	2010年	2005年
1. 父母を敬うこと	1.有効な道徳倫理	1.有効な道徳倫理
5. 目上の者を尊敬すること	1.有効な道徳倫理	2.力を失いつつある倫理・道徳
6. 礼儀正しくあること	1.有効な道徳倫理	1.有効な道徳倫理
8. 思いやりを持つ	1.有効な道徳倫理	1.有効な道徳倫理
9. 勤勉であること	1.有効な道徳倫理	2.力を失いつつある倫理・道徳
13. 物を大切にすること	1.有効な道徳倫理	1.有効な道徳倫理
15. 謎をつかないこと	1.有効な道徳倫理	2.力を失いつつある倫理・道徳
16. 決断すべきときに決断すること	1.有効な道徳倫理	1.有効な道徳倫理
19. 希望を持つこと	1.有効な道徳倫理	1.有効な道徳倫理
20. 勇気を持つこと	1.有効な道徳倫理	1.有効な道徳倫理
21. 節制すること	1.有効な道徳倫理	2.力を失いつつある倫理・道徳
22. 広く多く学ぶこと	1.有効な道徳倫理	1.有効な道徳倫理
25. 命を尊重すること	1.有効な道徳倫理	1.有効な道徳倫理
2. 祖先や神仏を大切にすること	3.過去の遺物	3.過去の遺物
3. 妻や夫を尊重すること	3.過去の遺物	1.有効な道徳倫理
4. 兄弟姉妹は仲良くすること	3.過去の遺物	3.過去の遺物
7. 冷静であること	3.過去の遺物	3.過去の遺物
10. 和を重んじること	3.過去の遺物	3.過去の遺物
11. 他人を信じること	3.過去の遺物	3.過去の遺物
12. 他者を尊重すること	3.過去の遺物	1.有効な道徳倫理
14. 困難を喜ぶこと	3.過去の遺物	3.過去の遺物
17. 実行すべきときに実行すること	3.過去の遺物	4.新たな価値観の兆し
23. 主体性を持つこと	3.過去の遺物	3.過去の遺物
24. 他を羨まないこと	3.過去の遺物	3.過去の遺物
18. 自分を信じること	4.新たな価値観の兆し	4.新たな価値観の兆し

ポジション	2010年		2005年	
	項目数	%	項目数	%
1.有効な道徳倫理	13項目	52.0	11項目	44.0
2.力を失いつつある倫理・道徳	0項目	0.0	4項目	16.0
3.過去の遺物	11項目	44.0	8項目	32.0
4.新たな価値観の兆し	1項目	4.0	2項目	8.0

※表中のマーカーのポジションは、倫理25コンセプトに対して「とても共感できる」または「まあ共感できる」(個人的共感度)と回答した割合と、「とても重要だと思う」または「まあ重要だと思う」(社会的重要性)と回答した割合

倫理コンセプト機能状況時系列比較

- ・25のコンセプトの4象限間での移動はあるものの、4象限におけるそれぞれの数には大きな差は見られない。
- ・前回調査で『2.タテマエ型』にあった「5.目上の者を尊敬すること」「15.嘘をつかないこと」や、『3.絶滅寸前の倫理・道徳』にあった「9.勤勉であること」は『1.行動指針型』にそれぞれ変わった。
- ・一方、『1.行動指針型』であった「12.他者を尊重すること」は、『3.絶滅寸前の倫理・道徳』に変わった。



コンセプト名	ポジション	
	2010年	2005年
1. 父母を敬うこと	1.行動指針型	1.行動指針型
5. 目上の者を尊敬すること	1.行動指針型	2.タテマエ型
6. 礼儀正しくあること	1.行動指針型	1.行動指針型
8. 思いやりを持つ	1.行動指針型	1.行動指針型
9. 勤勉であること	1.行動指針型	3.絶滅寸前の倫理・道徳
13. 物を大切にすること	1.行動指針型	1.行動指針型
15. 謎をつかないこと	1.行動指針型	2.タテマエ型
18. 自分を信じること	1.行動指針型	1.行動指針型
22. 広く多く学ぶこと	1.行動指針型	1.行動指針型
25. 命を尊重すること	1.行動指針型	1.行動指針型
3. 妻や夫を尊重すること	2.タテマエ型	1.行動指針型
4. 弟兄姉妹は仲良くすること	2.タテマエ型	2.タテマエ型
7. 冷静であること	2.タテマエ型	3.絶滅寸前の倫理・道徳
2. 祖先や神仏を大切にすること	3.絶滅寸前の倫理・道徳	3.絶滅寸前の倫理・道徳
10. 和を重んじること	3.絶滅寸前の倫理・道徳	2.タテマエ型
11. 他人を信じること	3.絶滅寸前の倫理・道徳	3.絶滅寸前の倫理・道徳
12. 他者を尊重すること	3.絶滅寸前の倫理・道徳	1.行動指針型
14. 困難を喜ぶこと	3.絶滅寸前の倫理・道徳	3.絶滅寸前の倫理・道徳
17. 実行すべきときに実行すること	3.絶滅寸前の倫理・道徳	4.座右の銘型
23. 主体性を持つこと	3.絶滅寸前の倫理・道徳	3.絶滅寸前の倫理・道徳
24. 他を羨まないこと	3.絶滅寸前の倫理・道徳	3.絶滅寸前の倫理・道徳
16. 決断すべきときに決断すること	4.座右の銘型	4.座右の銘型
19. 希望を持つこと	4.座右の銘型	4.座右の銘型
20. 勇気を持つこと	4.座右の銘型	4.座右の銘型
21. 節制をすること	4.座右の銘型	3.絶滅寸前の倫理・道徳

ポジション	2010年		2005年	
	項目数	%	項目数	%
1.行動指針型	10項目	40.0	9項目	36.0
2.タテマエ型	3項目	12.0	4項目	16.0
3.絶滅寸前の倫理・道徳	8項目	32.0	8項目	32.0
4.座右の銘型	4項目	16.0	4項目	16.0

※表中のマーカーのポジションは、倫理25コンセプトに対して「とても共感できる」または「まあ共感できる」(個人的共感度)と回答した割合と、「普段から実践している」または「まあ実践している」(個人的実践度)と回答した割合

倫理コンセプト評価時系列比較(年代別)

・「(1)倫理コンセプト機能状況」「(2)倫理コンセプト保存状況」共に、どの年代もほぼ同様に、X軸・Y軸ともにダウンしており、特定の年代に偏った傾向は見られない。

